

科目名	応用簿記ⅡC							
科目名(英)								
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	築島 正文			
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験				
対象学科・学年	経理科1年							
授業概要	日商簿記検定2級で学ぶ内容は、経営管理に役立つ知識として企業から最も求められるスキルである。高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うことができるようになる。							
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る		
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る		
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト日商簿記2級工業簿記／合格トレーニング日商簿記2級工業簿記／合格ドリル日商簿記2級工業簿記／日商簿記2級の中答練／過去問題集							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1- 2	直接原価計算Ⅰ 全部原価計算と直接原価計算、固定費調整				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3- 4	直接原価計算Ⅱ 短期利益計算、CVP分析、原価の固定分解				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5- 6	直接原価計算Ⅱ 直接原価計算とCVP分析				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	本社工場会計				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8- 9	日商簿記2級過去問題対策 第149回				総復習を行うこと		
	10	日商簿記2級過去問題対策 第150回				総復習を行うこと		
	12	日商簿記2級過去問題対策 第151回				総復習を行うこと		
	14	日商簿記2級過去問題対策 第152回				総復習を行うこと		
	16	日商簿記2級過去問題対策 第153回				総復習を行うこと		
	18	日商簿記2級過去問題対策 第154回				総復習を行うこと		
	20	日商簿記2級過去問題対策 第155回				総復習を行うこと		
	22	日商簿記2級直前対策模擬試験 第156回模擬試験第1回				総復習を行うこと		
	25	日商簿記2級直前対策模擬試験 第156回模擬試験第2回				総復習を行うこと		
	27	日商簿記2級直前対策模擬試験 第156回模擬試験第3回				総復習を行うこと		
	29	日商簿記2級直前対策模擬試験 第156回模擬試験第4回				総復習を行うこと		
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験	◎	◎				60%
宿題・レポート		○	◎		◎		20%	
出席状況・授業態度					◎		20%	
履修上の注意								

科目名	応用簿記Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	全経1級商業簿記・会計学に合格することが目標。企業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告する知識を習得する。講義では、過去試験問題の演習を行う。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					会計専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				全経簿記1級の全般の内容を理解し、過去問題(商業簿記・会計学)が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	全経簿記能力検定1級商業簿記・会計学 過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-2	第1問対策(文章穴埋め) 企業会計原則(一般原則中心)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3-4	第2問対策(仕訳) 銀行勘定調整・手形の割引・社債の処理・外貨建換算			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5-6	第3問対策(個別計算) 割賦販売・工事契約			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7-8	第3問対策(個別計算) 本店支店会計・合併・連結会計			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9-10	第5問対策(総合計算) 損益計算書の作成・貸借対照表の一部作成・金額算定			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11-12	過去問題演習/外貨建て、商品払出計算、吸収合併			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-14	過去問題演習/リース会計、五伝票制、複数支店、ROA			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15-16	過去問題演習/受託販売、ROE、連結会計			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17-18	過去問題演習/割賦販売、有価証券評価、工事契約			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19-20	過去問題演習/資本的支出、株主資本等変動計算書			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21-22	過去問題演習/資産除去債務、未着品			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23-24	過去問題演習/流動比率、自己資本比率			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25-26	過去問題演習/第198回					
	27-28	過去問題演習/第199回					
	29-30	過去問題演習/第200回					
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験			◎				80%
小テスト			◎				10%
宿題・レポート			◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	応用簿記Ⅳ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	築島 正文		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					原価計算用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				工業簿記記帳の一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				全経簿記1級の全般の内容を理解し、過去問題(原価計算・工業簿記)が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	全経簿記能力検定1級原価計算・工業簿記 過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-5	第1問対策(文章穴埋) 原価計算制度について等				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6-10	第2問対策(仕訳) 原価(素材費・労務費・経費)の消費、各種差異、本社工場				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11-15	第3問対策(個別計算) 仕掛品勘定の記入等				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16-20	第4問対策(総合計算) 製造原価報告書・損益計算書・貸借対照表の作成				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	過去問題演習/標準原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	22	過去問題演習/直接原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	23	過去問題演習/副産物				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24	過去問題演習/部門費配賦表作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	過去問題演習/製造間接費勘定作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	26	過去問題演習/個別原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	27	過去問題演習/部門別個別原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	28	過去問題演習/工程別総合原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	29	過去問題演習/組別総合原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
30	過去問題演習/製造原価報告書・損益計算書作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				80%
	小テスト		◎				10%
	宿題・レポート		◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	就職実務Ⅱ(筆記対策)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	百合野 薫		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。論理的思考を養う数学を主教科、読解力を強化する為の国語を副教科とする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					非言語能力問題(損益・仕事・鶴亀・速度等)ができる	
	○					言語能力問題(二語関係・文法・語句・長文理解)ができる	
テキスト・教材 参考図書	SPIクリア問題集(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	損益算(原価、利益、定価の算出)、二語関係					
	2	損益算(原価、利益、定価の算出)、二語関係				損益算の復習をしておく	
	3	仕事算(単位量の捉え方)、二語関係					
	4	仕事算(単位量の捉え方)、文法				仕事算の復習をしておく	
	5	鶴亀算(連立方程式への導入)、文法					
	6	鶴亀算(連立方程式への導入)、語句の意味				鶴亀算の復習をしておく	
	7	速さ・時間・距離(公式の使い方)、語句の意味					
	8	速さ・時間・距離(公式の使い方)、短文の穴埋め				速さ・時間・距離問題の復習をしておく	
	9	場合の数(条件分けの理解)、短文の穴埋め					
	10	確率、文章整序					
	11	グラフの領域(式とグラフの識別)、文章整序					
	12	グラフの領域(式とグラフの識別)、空欄補充				グラフの問題を復習しておく	
	13	図表の読み取り、空欄補充					
	14	新傾向問題(思考力を養う実践的計算)					
15	新傾向問題(思考力を養う長文読解)						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。(3)課題・レポートを数回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					60%
	確認テスト	○					20%
	課題・レポート				○		20%
履修上の注意							

科目名	高度財務会計 I B						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	70時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	日商簿記検定1級で学ぶ内容は、極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うことが出来るようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る	
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト／合格トレーニング						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	有形固定資産1 減価償却、売却・除却・買換え			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5-8	有形固定資産2 臨時損失と保険差益、圧縮記帳			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9-12	有形固定資産3 減損会計、資産除去債務			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-	リース取引			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	16-	無形固定資産・投資その他の資産 繰延資産・研究開発費等			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20-	引当金 退職給付引当金			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25-	社債			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31-	純資産(資本)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	◎				60%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意							

科目名	高度管理会計 I B						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	70時間	担当者	梶原 英彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格する実力を身につけさせる授業を行う。主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。講義では、すべての学生が簿記を修得できるように、できるだけわかりやすく講義するとともに、数多くの問題演習を行ってもらう。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					原価計算・財務分析用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				予算管理の一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				日商簿記1級の全般(財務分析が中心)の問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト／合格トレーニング						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	財務会計と管理会計 管理会計の為の原価計算			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5-8	直接原価計算の意義・特徴			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9-12	直接原価計算制度 直接標準原価計算とは			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13-15	損益計算書の表示と勘定連絡図			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16-20	標準原価計算制度における固定費調整			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21-25	企業予算総論 基本予算の編成手続 原価予測の方法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	26-30	CVP分析 最適セールスマックスの決定			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	31-35	共通する制約条件が1つだけ又は2つ以上の場合の最適セールスマックス			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
		セグメント別収益性の測定 資本コスト率の計算			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
		事業測定の指標 事業部の業績測定 内部振替価格			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
		予算実績差異分析・分類・計算方法 セグメント別の予算実績差異分析			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
確認テスト		◎	◎				60%
宿題・レポート		○	◎		◎		20%
授業態度					◎		20%
履修上の注意							

科目名	高度財務会計 I C						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	70時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	日商簿記検定1級で学ぶ内容は、極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うことが出来るようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る	
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト／合格トレーニング						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	本支店会計 企業結合・合併			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5-8	連結会計 連結財務諸表 支配獲得後の連結			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9-12	連結会計 子会社株式の追加取得・段階取得・一部売却			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13-	連結会計 未実現利益の消去			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	確認テスト					
	16-	連結会計 包括利益、退職給付会計、持分法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20-	株式交換 会社の分割			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25-	外貨建財務諸表項目			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	確認テスト					
	31-	キャッシュ・フロー計算書			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	確認テスト					
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
確認テスト		◎	◎				60%
宿題・レポート		○	◎		◎		20%
授業態度					◎		20%
履修上の注意							

科目名	高度管理会計 I C						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	70時間	担当者	梶原 英彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格する実力を身につけさせる授業を行う。主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。講義では、すべての学生が簿記を修得できるように、できるだけわかりやすく講義するとともに、数多くの問題演習を行ってもらう。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					原価計算・財務分析用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				予算管理の一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				日商簿記1級の全般(財務分析が中心)の問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト／合格トレーニング						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1-4	差額原価収益分析総論			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5-8	業務執行上の意思決定の計算例			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9-12	構造的意思決定総論			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13	設備投資の意思決定モデル			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	設備投資に伴ともなうキャッシュフローの予測			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	16	企業環境の激変に対応する新しい原価計算			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20	ライフサイクルコストニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25	原価企画 原価維持 原価改善			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	品質原価計算			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31	活動基準原価計算			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	確認テスト					
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	◎				60%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意							

科目名	高度財務会計Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格することが目標。企業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告する知識を習得する。講義では、過去試験問題の演習を行う。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					会計専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				全経簿記上級の全般の内容を理解し、過去問題(商業簿記・会計学)が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	全経簿記上級 過去問題集 出題傾向と対策 TAC合格テキスト 日商簿記1級 商業簿記・会計学						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	過去問題演習/オプション、減損会計 為替予約、CF計算書				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3-4	過去問題演習/企業結合会計、ストック・オプション、償却原価法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-6	過去問題演習/資産除去債務、財務比率				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7-8	過去問題演習/本支店会計、ソフトウェア、退職給付会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-10	過去問題演習/連結会計、純資産会計、会計方針の変更等				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11-12	過去問題演習/工事契約会計、ヘッジ会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13-14	過去問題演習/会社の清算、外貨建て有価証券、自己株式				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15-16	過去問題演習/割賦販売、資産除去債務、連結会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17-18	過去問題演習/リース会計、電子記録債権・債務				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19-20	過去問題演習/キャッシュフロー見積法、棚卸資産				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21-22	過去問題演習/持分法、連結会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	23-24	過去問題演習/工事契約会計、キャッシュ・フロー計算書				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25-26	過去問題演習					
	27-28	過去問題演習					
	29-30	過去問題演習					
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験			◎				80%
確認テスト			◎				10%
宿題・レポート			◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	高度管理会計Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	梶山 豊		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	企業の総務・経理として経理業務に従事		
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格する実力を身につけさせる授業を行う。主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。講義では、すべての学生が簿記を修得できるように、できるだけわかりやすく講義するとともに、数多くの問題演習を行ってもらう。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					原価計算・財務分析用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				予算管理の一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				全経簿記上級の全般の内容を理解し、過去問題(工業簿記・原価計算)が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	全経簿記上級 過去問題集 出題傾向と対策 TAC合格テキスト 日商簿記1級 工業簿記・原価計算						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	過去問題演習/171回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3-4	過去問題演習/173回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-6	過去問題演習/175回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7-8	過去問題演習/177回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-10	過去問題演習/179回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11-12	過去問題演習/181回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13-14	過去問題演習/183回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15-16	過去問題演習/185回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17-18	過去問題演習/187回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19-20	過去問題演習/189回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21-22	過去問題演習/191回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	23-24	過去問題演習/193回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25-26	過去問題演習/195回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	27-28	過去問題演習/197回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	29-30	過去問題演習/199回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験			◎				80%
確認テスト			◎				10%
宿題・レポート			◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	財務会計 I C						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	100時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	企業の総務・経理として経理業務に従事		
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	日商簿記検定1級で学ぶ内容は、極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うことが出来るようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る	
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト／合格トレーニング						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-4	本支店会計 企業結合・合併				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-8	連結会計 連結財務諸表 支配獲得後の連結				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-12	連結会計 子会社株式の追加取得・段階取得・一部売却				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13-14	連結会計 未実現利益の消去				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15	確認テスト					
	16-19	連結会計 包括利益、退職給付会計、持分法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20-24	株式交換 会社の分割				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25-29	外貨建財務諸表項目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	30	確認テスト					
	31-34	キャッシュ・フロー計算書				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	35	確認テスト					
	36-37	過去問題演習					
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	◎				60%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意							

科目名	管理会計 I C						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	100時間	担当者	梶原 英彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格する実力を身につけさせる授業を行う。主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。講義では、すべての学生が簿記を修得できるように、できるだけわかりやすく講義するとともに、数多くの問題演習を行ってもらう。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					原価計算・財務分析用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				予算管理の一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				日商簿記1級の全般(財務分析が中心)の問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト／合格トレーニング						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-4	差額原価収益分析総論				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-8	業務執行上の意思決定の計算例				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-12	構造的意思決定総論				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	設備投資の意思決定モデル				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15	設備投資に伴ともなうキャッシュフローの予測				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	16	企業環境の激変に対応する新しい原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	ライフサイクルコストニング				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	原価企画 原価維持 原価改善				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	30	品質原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	31	活動基準原価計算				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	35	確認テスト					
	36	過去問題演習					
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	◎	◎				60%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意							

科目名	財務会計Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	企業の総務・経理として経理業務に従事		
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格することが目標。企業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告する知識を習得する。講義では、過去試験問題の演習を行う。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					会計専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				取引情報の処理・作成に関する一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				全経簿記上級の全般の内容を理解し、過去問題(商業簿記・会計学)が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	全経簿記上級 過去問題集 出題傾向と対策 TAC合格テキスト 日商簿記1級 商業簿記・会計学						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	過去問題演習/オプション、減損会計 為替予約、CF計算書				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3-4	過去問題演習/企業結合会計、ストック・オプション、償却原価法				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-6	過去問題演習/資産除去債務、財務比率				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7-8	過去問題演習/本支店会計、ソフトウェア、退職給付会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-10	過去問題演習/連結会計、純資産会計、会計方針の変更等				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11-12	過去問題演習/工事契約会計、ヘッジ会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13-14	過去問題演習/会社の清算、外貨建て有価証券、自己株式				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15-16	過去問題演習/割賦販売、資産除去債務、連結会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17-18	過去問題演習/リース会計、電子記録債権・債務				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19-20	過去問題演習/キャッシュフロー見積法、棚卸資産				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21-22	過去問題演習/持分法、連結会計				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	23-24	過去問題演習/工事契約会計、キャッシュ・フロー計算書				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25-26	過去問題演習					
	27-28	過去問題演習					
	29-30	過去問題演習					
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				80%
	確認テスト		◎				10%
	宿題・レポート		◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	管理会計Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	梶原 英彦		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	この講義は、日商簿記検定2級レベルが理解できている学生を対象としています。全経上級・日商1級等の高度の資格試験に合格する実力を身につけさせる授業を行う。主に製造業の経営活動を記録・計算し、その結果を財務諸表によって報告・分析する知識を習得する。講義では、すべての学生が簿記を修得できるように、できるだけわかりやすく講義するとともに、数多くの問題演習を行ってもらう。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					原価計算・財務分析用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				予算管理の一連の流れを理解し、説明ができる。	
		○				全経簿記上級の全般の内容を理解し、過去問題(工業簿記・原価計算)が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	全経簿記上級 過去問題集 出題傾向と対策 TAC合格テキスト 日商簿記1級 工業簿記・原価計算						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	過去問題演習/171回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3-4	過去問題演習/173回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5-6	過去問題演習/175回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7-8	過去問題演習/177回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9-10	過去問題演習/179回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11-12	過去問題演習/181回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13-14	過去問題演習/183回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15-16	過去問題演習/185回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17-18	過去問題演習/187回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19-20	過去問題演習/189回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21-22	過去問題演習/191回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	23-24	過去問題演習/193回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25-26	過去問題演習/195回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	27-28	過去問題演習/197回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	29-30	過去問題演習/199回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験			◎				80%
確認テスト			◎				10%
宿題・レポート			◎		◎		10%
履修上の注意							

科目名	応用簿記 I B						
科目名(英)							
単位数	5単位	時間数	80時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	日商簿記検定2級で学ぶ内容は、経営管理に役立つ知識として企業から最も求められるスキルである。高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うことができるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る	
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト日商簿記2級商業簿記／合格トレーニング日商簿記2級商業簿記／合格ドリル日商簿記2級商業簿記						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1- 2	決算手続Ⅰ 精算表の作成手順、決算整理仕訳のまとめ				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3- 4	決算手続Ⅱ 損益・繰越利益剰余金・繰越試算表の作成				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5- 6	決算手続Ⅲ 損益計算書・貸借対照表の作成手順				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7- 8	収益・費用の認識基準 収益・費用の計上原則(発生主義会計)				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9- 10	課税所得の算定と税効果会計の会計処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11- 14	本支店会計Ⅰ 本支店間取引・支店間取引の会計処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	14- 16	本支店会計Ⅱ 決算手続き、決算振替の会計処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	16- 18	本支店会計Ⅲ 本支店合併財務諸表の作成				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	18- 20	合併と事業譲渡の会計処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20- 26	連結会計Ⅰ(資本連結Ⅰ) 連結財務諸表の作成方法				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	26- 35	連結会計Ⅱ(資本連結Ⅱ) 支配獲得後の連結手順				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	35- -	連結会計Ⅲ(成果連結) 連結修正仕訳の手順				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	◎				60%
宿題・レポート		○	◎		◎		20%
授業態度					◎		20%
履修上の注意							

科目名	Excel演習						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	乙咩 清美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱えるスキルを身に付ける						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ブック、ワークシート、セルに書式を設定することができる	
	○					関数を使用して計算を行うことができる	
	○					グラフの作成、オブジェクトの挿入ができる	
テキスト・教材 参考図書	Microsoft Excel 2016 対策テキスト& 問題集(FOM出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	ワークシートやブックの書式設定をする					
	3-4	ワークシートやブックのオプションの設定を、確認問題				書式設定を理解しておくこと	
	5-6	セルやセル範囲にデータを挿入する					
	7-8	セルやセル範囲の書式設定をする、確認問題				データの挿入を理解しておくこと	
	9-10	テーブルの作成					
	11-12	レコードの抽出、並べ替えをする、確認問題				テーブル作成を理解しておくこと	
	13-14	数式や関数を使用してデータを集計する					
	15-16	関数を使用して条件付きの計算を実行する、確認問題				関数を理解しておくこと	
	17-18	グラフを作成する					
	19-20	オブジェクトの挿入、書式設定をする、確認問題				グラフ作成を理解しておくこと	
	21-22	第1回模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					
	23-24	第2回模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					
	25-26	第3回模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					
	27-28	第4回模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説					
29-30	第5回模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説						
評価方法	(1)授業の中で評価テスト(実技試験)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(実技試験)を2回実施する。(3)授業の中で課題を作成し提出を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	評価テスト		◎				60%
	確認テスト		○				20%
	課題提出		○		○		20%
履修上の注意							

科目名	応用簿記ⅡB						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	築島 正文		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	企業の総務・経理として経理業務に従事		
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	日商簿記検定2級で学ぶ内容は、経営管理に役立つ知識として企業から最も求められるスキルである。高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うことができるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳が出来る	
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成が出来る	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト日商簿記2級工業簿記／合格トレーニング日商簿記2級工業簿記／合格ドリル日商簿記2級工業簿記						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1- 2	総合原価計算Ⅰ 総合原価計算の勘定連絡図、月末仕掛品原価					
	3- 4	総合原価計算Ⅱ 月初仕掛品がある場合の計算				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	5- 6	総合原価計算Ⅱ 直接材料の投入方法、加工費の予定配賦				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7- 8	総合原価計算Ⅲ 正常仕損費の処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	9- 10	総合原価計算Ⅲ 月初仕掛品がある場合の正常仕損費の処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11- 12	総合原価計算Ⅲ 月初仕掛品がある場合の正常仕損費の処理				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13- 14	総合原価計算Ⅲ 総合原価計算における減損、副産物				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	15- 16	総合原価計算Ⅳ 工程別総合原価計算の手続き、勘定連絡図				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	17- 18	総合原価計算Ⅴ 組別総合原価計算 等級別総合原価計算				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	勘定連絡図と財務諸表、公企業の財務諸表				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20- 21	標準原価計算Ⅰ 標準原価計算の手続き、計算、勘定記入の方				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	22- 23	標準原価計算Ⅱ 原価差異の計算、直接材料費・直接労務費の				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24- 25	標準原価計算Ⅱ 製造間接費差異の分析				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	27- 28	標準原価計算Ⅱ 財務諸表作成				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
29- 30	標準原価計算Ⅱ 実際総合原価計算と標準総合原価計算				前回の授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	出席状況・授業態度				◎		20%
履修上の注意							

科目名	応用簿記 I C						
科目名(英)							
単位数	5単位	時間数	80時間	担当者	新田 覚		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	経理科1年						
授業概要	日商簿記検定2級で学ぶ内容は、経営管理に役立つ知識として企業から最も求められるスキルである。高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うことができるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みを理解し仕訳ができる	
		○				簿記の計算構造を理解し帳票作成ができる	
テキスト・教材 参考図書	・TAC 合格テキスト日商簿記2級商業簿記／合格トレーニング日商簿記2級商業簿記／合格ドリル日商簿記2級商業簿記						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1- 2	製造業会計 財務諸表の作成				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3- 5	本試験レベル問題対策 現金預金・固定資産の会計処理				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	6- 10	日商簿記2級過去問題対策 第146,145,144回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11- 16	日商簿記2級過去問題対策 第149,148,147回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	16- 21	日商簿記2級過去問題対策 第152,151,150回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	21- 26	日商簿記2級過去問題対策 第155,154,153回				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	26- 31	日商簿記2級直前対策模擬試験 第156回模擬試験				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	31- 36	日商簿記2級直前対策模擬試験 第156回模擬試験				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	宿題・レポート	○	◎		◎		20%
	授業態度				◎		20%
履修上の注意							